

帝京大学大学院

外国語研究科 国際文化専攻

日常化する文化の交錯を多角的に読み解く

移動手段と通信技術の発展により、ヒト・モノ・情報の移動が飛躍的に増大する今日、異なる歴史的な文脈と価値観を持つ文化の交錯は普遍的な現象となっています。文化間の相互作用の中で生じる衝突・交流・融合を、国家や地域の枠を越えて観察し、独自の問いを立てて分析する。それが国際文化研究です。

外国語運用能力は、この国際文化研究に不可欠な要素です。異なる言語で書かれた文献を読み、語られる言葉を聴くための手段であると同時に、言語の背景をなす文化に内在する論理に近づくための重要な手がかりでもあります。異なる文化的背景と問題意識を持つ学生が集い、高度な外国語運用能力を駆使しながら、それぞれの知的探究心に基づいて研究を深めていく。国際文化専攻は、そのような学びの場です。



研究科長・専攻主任
博士(学術)

山崎 直也
Naoya Yamazaki

東京外国語大学大学院地域文化研究科博士後期課程単位取得退学、博士(学術)。国際教養大学国際教養学部を経て、2015年本学着任。2018年度より外国語学部教授。専門は東アジア地域研究、比較教育学。

アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

外国語研究科は、自分が専門とする知識を、今日、ますます複雑化する一般社会の要求する水準で活用できる言語運用能力を持つ人材の育成を目指しています。人が互いに言葉进行す言語接触の場は、言葉を話す人の人柄が問われる場です。十全な人間性を土台にした、専門的職業人として、さらに今日の社会では、単一の個別国家の言語と文化・歴史を超えた国際的知識と共に問題に即した固有の特殊な研究を遂行できる能力が必要とされます。学部等における上記のような学修を通じて、次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

1. 現代の国際化する社会の生み出す諸問題の解決に貢献できる研究課題を広い視野に立って、主体的に選択する能力がある。
2. 自己で設定した研究課題の要求する、極めて膨大な広範に及ぶ関連分野を横断しつつ研究を遂行できる能力がある。
3. 問題発見と解決のために、日本人と外国人を問わず、多様な人びとと対話を通じて相互理解に努められる態度と言語能力を有する。

カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成及び実施に関する方針)

学位授与の方針に掲げる能力を修得させるために、外国語研究科は、以下の方針でカリキュラムを編成する。

博士前期課程

1. 専攻する言語の運用能力を学術的討論で実際に運用できる水準に高めるほか、今日世界のグローバル言語として英語を必修として課す。
2. 今日の文化の多様性にアプローチするための幅広い教養と豊かな人間性を培うべく、広範な学術分野の学問的導入を授ける科目を自由選択し、自己の関心と照らし合わせながら、学位論文のテーマを確定する。
3. テーマに相応しい教員の指導を仰ぎながら、先端的かつ高度な研究を行い、修士学位論文を作成する。

博士後期課程

1. 専攻する言語の運用能力を専門的討論で使用・発表できる水準に高め、グローバル言語としての英語とともに運用して研究を遂行する。
2. 今日の文化の多様性を理解し、広範な学術分野の学問を通じて身につけた幅広い教養と豊かな人間性を背景に、自己の関心に基づく博士学位論文のテーマを深く追究する。
3. テーマに相応しい教員の指導を仰ぎながら、オリジナリティを有し先端的かつ高度な研究を行い、博士学位論文を完成させる。

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

外国語研究科は、今日のグローバリゼーションが必然的に生み出す日常的な異文化接触のもとらす軋轢を、高度な言語運用能力によって処理し、現代の多文化共生社会を真に豊かで幸せな人間環境とするグローバル・シチズンの育成を目指している。以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修めた者に対して学位を授与する。

博士前期課程

1. 専攻する言語の運用能力を可能な限り高め、実践的に運用できる。
2. 実際の言語運用に有効な文化的・歴史的知識を幅広く修得し、異文化間コミュニケーションを円滑に遂行できる。
3. 歴史上または現代の高度に複雑な文化現象の解明に取り組み、客観的に記述し、人と論じ合い、修士学位論文にまとめることができる。

博士後期課程

1. 専攻する言語の高度な運用能力を一層高め、実践的に運用できる。
2. 実際の言語運用に有効な文化的・歴史的知識を幅広く修得し、高度な異文化間コミュニケーションを円滑に遂行できる。
3. 幅広い知識を背景に歴史上または現代の複雑な文化現象を分析し、客観的に記述および発表し、専門的な論議を行う力を身につけ、博士学位論文にまとめることができる。

授与学位

※募集人員・入試日程などについては大学ホームページ掲載の「入学試験要項2027」をご覧ください。

課程・修業年限	授与学位	学位論文	必修科目	選択科目	修了に必要な単位数
博士前期課程・2年	修士(学術)	○	10単位	20単位	30単位
博士後期課程・3年	博士(学術)	○		12単位	12単位

進路

- 就職先 東雅株式会社／株式会社ANA Cargo
- 進学先 帝京大学大学院[博士後期課程]

資格等の取得について

■教職課程

中学校教諭1種免許状(英語)、高等学校教諭1種免許状(英語)を取得している者で、専修免許状の取得を希望する場合は、所定の単位を修得し、教育委員会に免許状の申請をすることにより、中学校教諭専修免許状(英語)、高等学校教諭専修免許状(英語)を取得できます。

国際文化専攻の概要

比較文化概論 国際研究の基本概念を学ぶ

博士前期課程

多様な学問
分野を網羅する
専門科目群

- 比較文学論特論
- 比較社会論特講
- 日本語特論
- 表象論特講
- 比較教育論特講 ほか

博士後期課程

特殊研究

- 宗教論特殊研究
- 比較政治文化論特殊研究
- 比較芸術論特殊研究
- 日本語特殊研究
- 比較思想特殊研究 ほか

英語運用能力の向上

博士前期課程では、国際的な舞台における英語コミュニケーション・スキルの基礎訓練として2年間の一貫教育を実施しています。1年次の「外国語実践演習Ⅰ・Ⅱ」では、日本語と英語の発想の違いに留意しつつ、論文作成、プレゼンテーションなど発信する英語力を磨き、2年次の「外国語実践演習Ⅲ・Ⅳ」では、自分の第二言語習得の経験と関連させながら「第二言語習得研究」について学修し、理解を深めるとともに、母語や第二言語を用いて論理的に発表する、レポートを作成するなどの運用能力の向上をめざします。

多様な科目配置

国際文化専攻においては、それぞれの専門分野を「世界」の文脈におき、一つの学問領域内に閉じこもることなく、他の学問領域にも視野を広げることによって、国際的な教養を身につけます。文化・宗教・文学・政治文化・芸術・社会・思想・表象という多様な学問領域を網羅する専門科目群においては、国家や文化圏の境界線を超えて自由に発想することが促されます。このような科目群を幅広く履修することによって、国際的な教養と偏見のない視野から、世界の社会と文化に関する新しい解釈を生み出すことをめざします。

日本を世界のコンテキストにおく

日本で学び日本で生きる私たちにとって、「日本」をいかにとらえるかは重要な課題です。国際文化専攻においては、日本を世界のコンテキストにおき、日本を新しい視点から世界に発信する力を養います。日本語、日本の文学・文化、日本の教育、日本の歴史、日本の風俗・習慣、日本の思想、日本の政治、日本の宗教は、世界の他の国々や文化圏と比較したときにその特徴や「特殊性」が明らかになります。博士後期課程では博士前期課程で習得した基本的知識をもとにそれぞれのテーマを深く掘り下げます。

主要科目一覧

- | | | | |
|-------------|---------------|------------|-----------------|
| ■比較文化概論 | ■比較政治文化論特講Ⅰ・Ⅱ | ■日本語特論Ⅰ・Ⅱ | ■比較教育論特論Ⅰ・Ⅱ |
| ■宗教論特講Ⅰ・Ⅱ | ■比較芸術論特講Ⅰ・Ⅱ | ■比較思想特論Ⅰ・Ⅱ | ■外国語実践演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ |
| ■比較文学論特論Ⅰ・Ⅱ | ■比較社会論特講Ⅰ・Ⅱ | ■表象論特講Ⅰ・Ⅱ | ■方法論演習Ⅰ・Ⅱ |

過去の論文テーマ

- 戦後台湾英語教育の実証的研究
- エクアドルにおけるスクレ英雄伝説の形成と変容
- 在日中国人留学生の就職の現状と課題
- あいさつをめぐる日・中母語話者の意識の相違
- 異文化コミュニケーション場面で不快感が生じる要因に関する一考察
- 初級日本語教材に見られるイラストの機能と学習者に与える影響
- 中国人日本語学習者の語用論的転移について
- 日本人英語学習者が英語理解で不可欠な英語動詞の本質
- From Film Frame to Game Frame: The Cinematic Construction of Violence in Video Games
- A Comparative Study of the American and Chinese TV Adaptations of The Three-Body Problem
- 第二言語から母語への言語逆行転移について

帝京大学入学金減免制度

帝京大学の卒業生および2027年3月卒業見込みの学生を対象に入学金を全額免除する制度です。

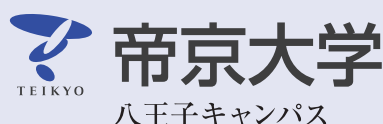
対象者

- 帝京大学卒業生または卒業見込みの者

減免額

- 入学金：全額免除

※出願の際は必ず「入学試験要項2027」またはホームページをご確認ください。



〒192-0395 東京都八王子市大塚359
<https://www.teikyo-u.ac.jp/>

※このチラシに記載されている内容は2026年度に実施予定のもので、2027年4月以降に変更する可能性があります。

▶問い合わせ先

入学試験について
 本部入試室 入試企画室
 TEL：042-678-3317

授業内容等について
 教務課
 TEL：042-678-3301

奨学金について
 学生支援課 学生支援室
 TEL：042-678-3310

資料請求について
 インターネットによるお申し込み
<https://www.teikyo-u.ac.jp/documents/>



窓口時間：月曜～金曜 8:45～16:45 土曜 8:45～12:00 ※祝日・年末年始（12/29～1/3）および1/16を除く